

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 30 号

第 30 週(7月21日～7月27日)

発行年月日:平成20年(2008年)8月1日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

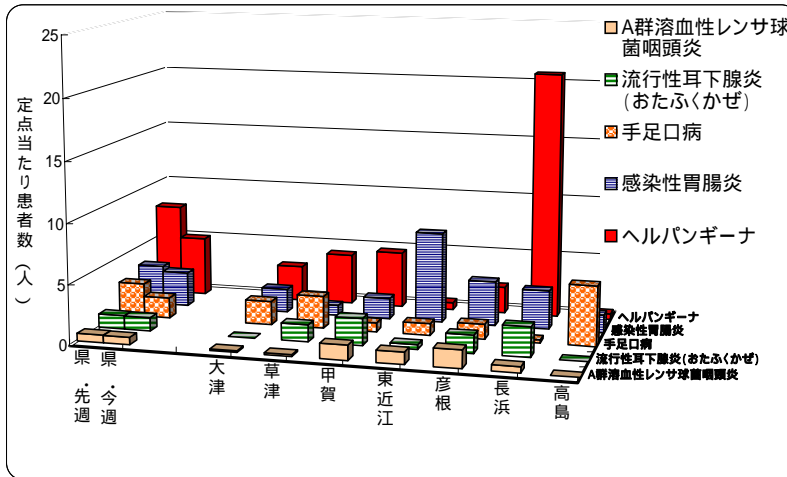
腸管出血性大腸菌感染症の発生は2週連続し、増加傾向!!

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数よりかなり減少しています。特に、手足口病およびヘルパンギーナで急減しています。今週増加した疾患はインフルエンザ、水痘およびマイコプラズマ肺炎のみで、その他の大部分の疾患は減少しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報発生状況は先週と同様、咽頭結膜熱(プール熱)、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎で警報発生基準値を超えている保健所があります(詳細については、今週の発生状況参照)。

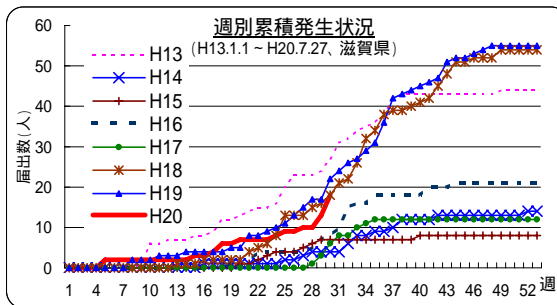
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で3名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で5名、五類感染症のクロイツフェルト・ヤコブ病で1名、後天性免疫不全症候群で2名、麻しんで2名の届出がありました。

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第30週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、ヘルパンギーナ、感染性胃腸炎、手足口病、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の順に多くなっています。ヘルパンギーナは長浜で手足口病は高島で多い状態が続いています。また、感染性胃腸炎は東近江で先週よりかなり多くなっています。

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況(平成13年～平成20年、滋賀県)



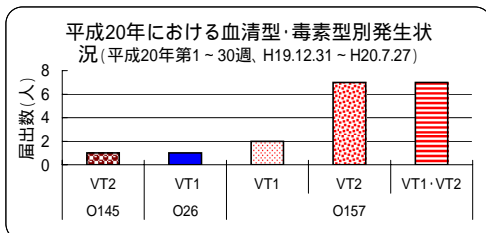
平成20年7月27日現在における届出数 18名の内訳は、男性 6名、女性 12名、診断の類型は患者 12名、無症状病原体保有者 6名です。

血清型・毒素型は O157・VT1&VT2 7名
O157・VT2 7名
O157・VT1 2名
O145・VT2 1名
O26・VT1 1名です。

年齢は0～9歳 3名、10～19歳 2名、20～29歳 8名、30～39歳 2名、50～59歳 2名、60歳～1名です。

保健所管内別では、大津 9名、草津 5名、東近江 2名、彦根 2名です。

感染経路別では、経口感染 11名、不明7名です。経口感染のうち、数名はユッケ、センマイ等の生肉を食べています。



1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいますが、届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (30週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (30週)	全国 (30週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	3	158	14,622	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	165	^{(*)2} 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	5	18	1,533	55	4,586
四類感染症	パラチフス	0	0	20	1	22
	E型肝炎	0	0	29	1	54
	A型肝炎	0	2	106	1	154
	デング熱	0	1	36	1	89
	マラリア	0	1	25	1	52
五類感染症	レジオネラ症	0	4	473	8	655
	アメーバ赤痢	0	5	483	15	781
	ウイルス性肝炎	0	3	128	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	91	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	72	1	96
	後天性免疫不全症候群	2	9	830	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	45	1	56
	梅毒	0	1	466	2	714
	破傷風	0	2	61	0	88
	急性脳炎	0	0	109	2	216
	風しん ^{(*)3}	0	1	247	-	-
	麻疹 ^{(*)3}	2	36	10,442	-	-

* 1: 平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

* 3: 平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第30週(7/21~7/27) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核 231例	三類感染症: 腸チフス 2例	四類感染症: A型肝炎 5例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 8例
三類感染症: 細菌性赤痢 14例	コレラ 1例	パラチフス 1例	急性脳炎 1例	破傷風 3例
腸管出血性大腸菌感染症 117例		デング熱 1例	マラリア 2例	麻疹 53例
		レジオネラ症 7例		アメーバ赤痢 10例
				梅毒 5例

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第25~30週, 6/16~7/27)

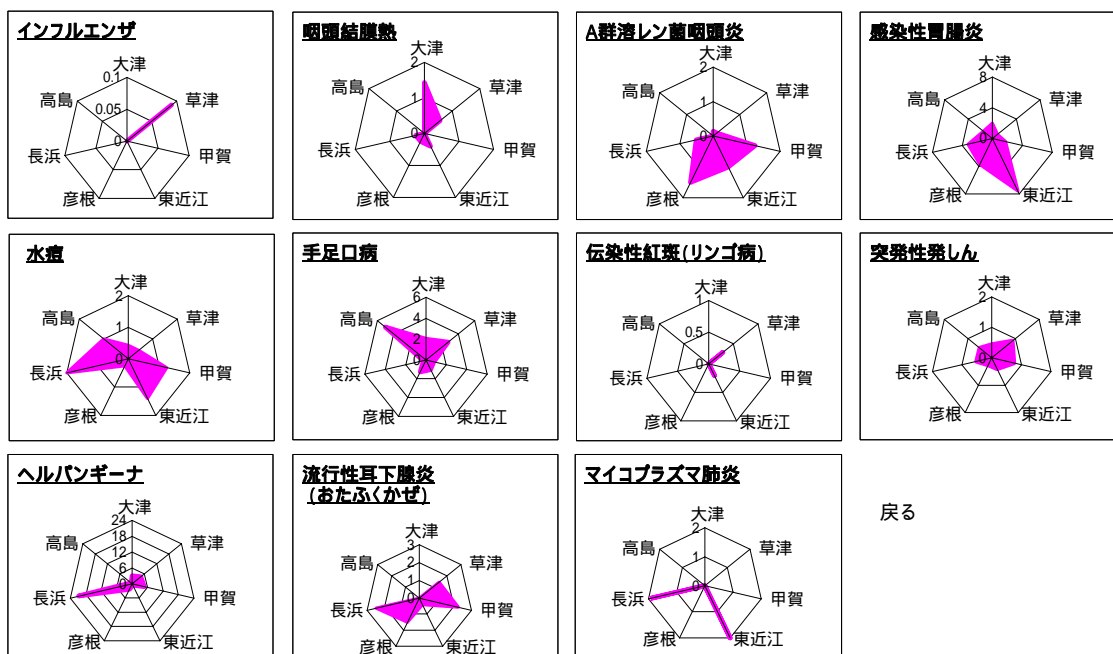
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加)					前週と同じ				前週より減少)		
	25週	26週	27週	28週	29週	30週		週				
	(6/16~)	(6/23~)	(6/30~)	(7/7~)	(7/14~)	(7/21~)		26	27	28	29	30
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0.02						
RSウイルス感染症	0	0	0	0.06	0	0						
咽頭結膜熱(プール熱)	1.09	0.70	1.18	0.82	0.73	0.55						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.76	1.76	1.00	0.91	0.64	0.61						
感染性胃腸炎	5.76	5.06	4.00	3.79	3.36	2.91						
水痘	2.15	1.36	0.94	0.94	0.73	0.88						
手足口病	1.15	1.88	2.91	3.06	2.82	1.73						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0.03	0.06	0.03	0.12	0.09						
突発性発しん	0.67	0.97	0.55	0.48	0.55	0.55						
百日咳	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	1.58	2.09	3.48	6.24	7.79	5.03						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.15	1.61	1.58	1.42	1.15	1.12						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.13	0.25	0.38	0.13	0.13	0						
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0.14	0	0.14	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0	0	0.14	0.29	0.14	0.57						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第30週、7/21～7/27)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.02	0	0.09	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.55	1.43	0.57	0	0.40	0.25	0.25	0	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.61	0.14	0.14	1.25	1.00	1.50	0.50	0	■
感染性胃腸炎	2.91	2.00	0.86	1.75	7.60	3.75	3.25	1.50	■
水痘	0.88	0.43	0.43	1.25	1.40	0.25	2.00	1.00	■
手足口病	1.73	2.00	2.71	0.75	1.00	1.25	0.25	5.00	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0	0.29	0	0.20	0	0	0	■
突発性発しん	0.55	0.43	0.86	0.75	0.40	0.25	0.50	0.50	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	5.03	3.00	4.29	4.75	0.60	2.25	20.75	0.50	■
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.12	0	1.43	2.25	0.40	1.50	2.50	0	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.57	0	0	0	2.00	0	2.00	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

手足口病は県全体としては、先週より減少していますが、大津、草津、甲賀および東近江では増加しているため、引き続き注意が必要です。また、マイコプラズマ肺炎については東近江および長浜からの報告が多くなっています。

滋賀県における保健所管内別警報発生状況(平成20年第30週)

疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値
		大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
咽頭結膜熱(プール熱)		●	●						2.00	0.10	
定点当たり患者数(人)	0.55	1.43	0.57	0	0.40	0.25	0.25	0			
手足口病			●					●	5.00	2.00	
定点当たり患者数(人)	1.73	2.00	2.71	0.75	1.00	1.25	0.25	5.00			
ヘルパンギーナ			●	●				●	6.00	2.00	
定点当たり患者数(人)	5.03	3.00	4.29	4.75	0.60	2.25	20.75	0.50			
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)				●					6.00	2.00	3.00
定点当たり患者数(人)	1.12	0	1.43	2.25	0.40	1.50	2.50	0			

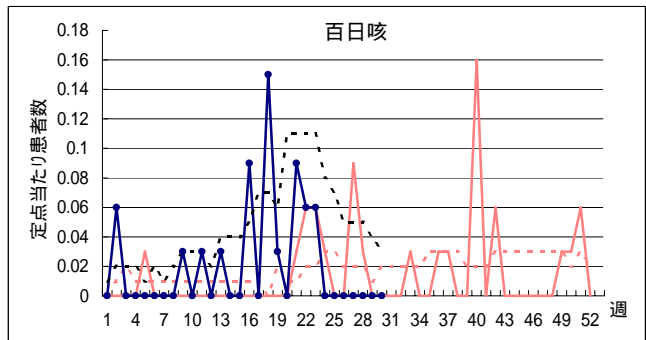
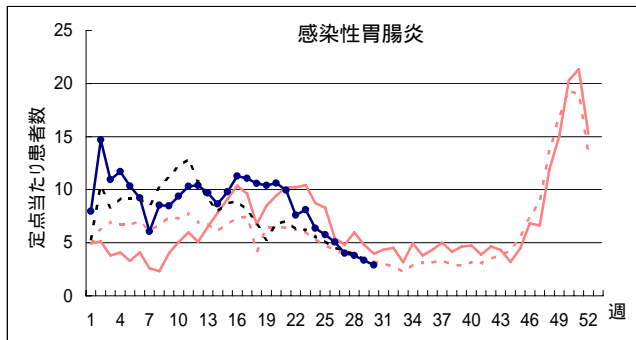
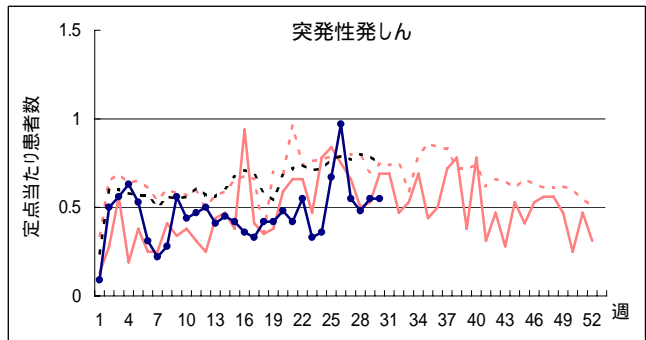
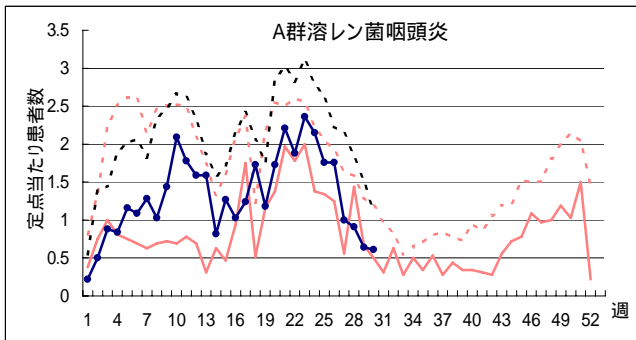
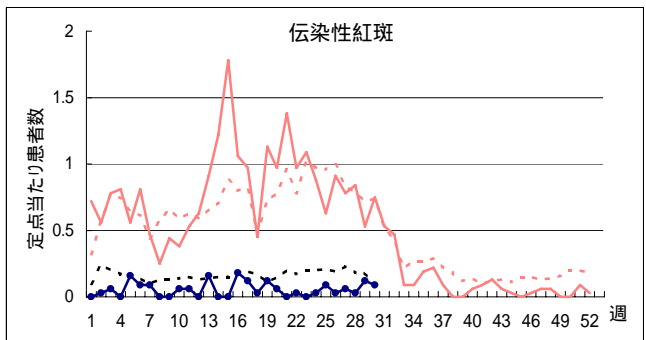
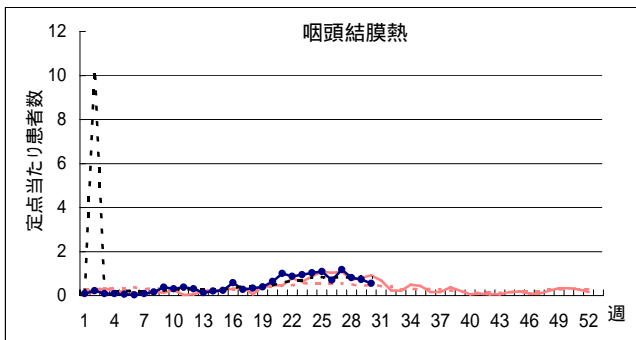
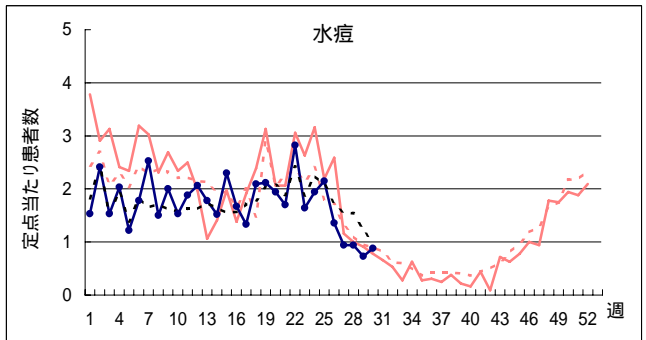
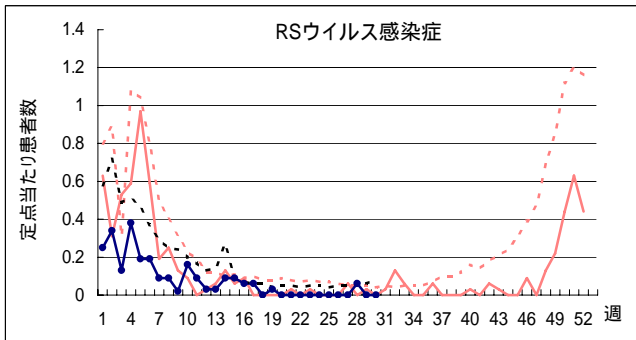
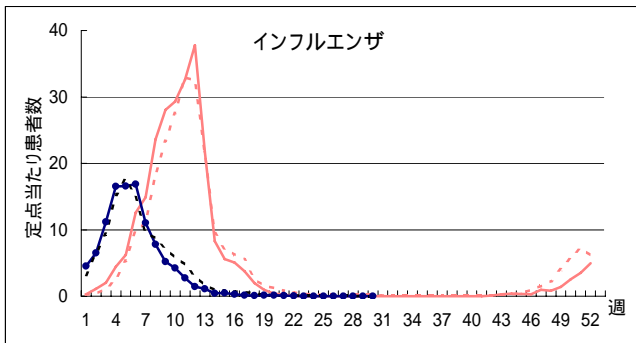
● : 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。

* 基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。

手足口病は彦根保健所管内で、警報終息基準値未滿となっています。他の疾患については、先週に引き続き警報終息基準値を超えています。

流行発生警報(警報): 流行発生警報という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

疾病別定点当たり患者数(平成20年第30週、H19.12.31~H20.7.27)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第30週、H19.12.31～H20.7.27)

